

令和6年度 大型クラゲ情報(第11号)

福井県大型クラゲ対策連絡会議

【事務局：福井県農林水産部水産課】

TEL：(0776)-20-0436

本情報取りまとめ担当

福井県水産試験場 海洋資源研究センター

TEL：(0770)-26-1331

FAX：(0770)-26-1379

福井丸による曳航式ビデオカメラ調査を実施しましたので
結果をお知らせいたします。

1. 福井丸による調査結果(10月6~7日)

○調査方法

ビデオカメラを搭載した曳航枠(幅2m、図1)を海底まで沈め約1.5ktで曳航し、海底を撮影して大型クラゲを観察しました。調査地点は図1に示した5地点としました。調査地点①、②は6日に、③～⑤は7日に調査を行いました。

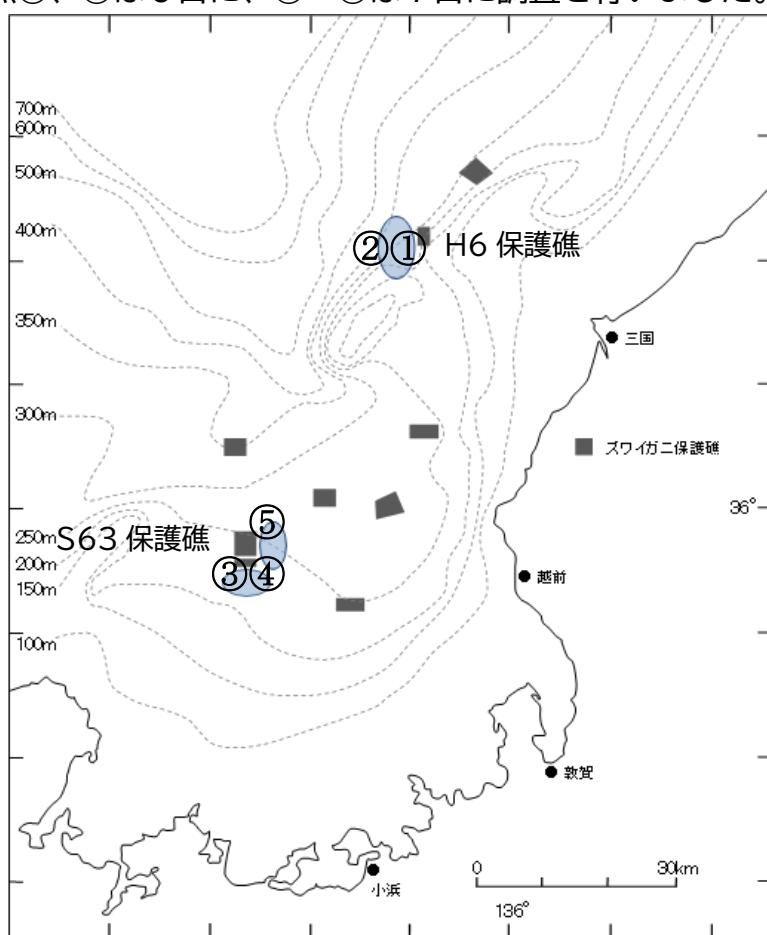


図1 調査地点

○結果

調査結果は表1のとおりです。各地点で1~4個体が確認されましたが、多くが断片で、完全な個体は2個体のみでした。1ha当たりの密度は平均4.4個で、令和3年と同程度でした（表2）。令和3年は底曳網へ平均19個/網程度の入網があったことから、今年も同程度（20個/網）の入網が予想されます。対策網の使用などの対策を検討してください。

表1 曜航式VTR調査結果（10月6~7日）

調査 地点	水深(m)	曳航距離 (マイル)	確認個数		1haあたり の個数
			完全な個体	断片	
①	279~299	1.47	1(約60cm)	3(約20~40cm)	7.4
②	278~303	1.63	0	1(約20cm)	1.7
③	233~240	1.01	0	3(約40~80cm)	8.0
④	244~250	1.08	0	1(約40~50cm)	2.5
⑤	262~266	1.02	1(約60cm)	0	2.7
合計		6.21	2	8	4.4

表2 過去の調査結果との比較

調査年度	調査結果(個/ha)	底曳網漁への入網数(1網当たり)
平成17年	7.3	~数十個（最大約100個）
平成18年	14.3	~数十個（最大約100個）
平成19年	0.4	~20個（最大約50個）
平成21年	10.4	~数十個
令和3年	4.8	平均19個（最大150個）
令和6年	4.4	—

2. 他県での主な入網状況（図2、JAFIC大型クラゲ出現情報より作成）

①対馬海峡～中西部日本海の底曳網での入網状況

9月中旬以降、入網数は減少傾向にあります

9月1~7日	20~150個/網	(約50~200cm)
9月8~14日	30~250個/網	(約50~200cm)
9月15~21日	0~150個/網	(約30~180cm)
9月22~29日	0~46個/網	(約70~180cm)

②京都府の定置網での入網状況

9月下旬以降、入網数は減少傾向にあります

9月18~24日	1~100個/日	(約50~100cm)
9月25日~10月2日	1~6個/日	(約50~100cm)

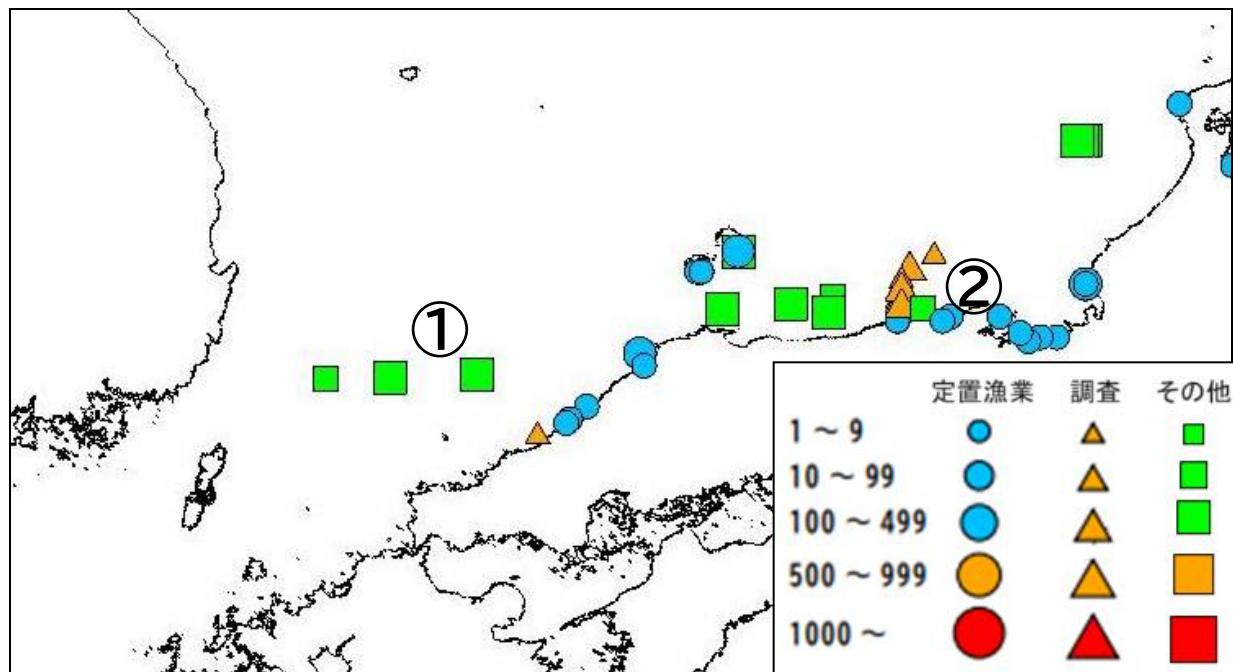


図2 全国の入網状況

3. 情報提供について

県では今後も県内、他府県、国立研究開発法人水産研究・教育機構および漁業情報サービスセンター等の大型クラゲ情報を収集し、速やかにお知らせします。

大型クラゲに関する情報がありましたら、水産試験場までご連絡頂きますようお願いします。

※各機関の発信している大型クラゲ情報へのアクセス

漁業情報サービスセンター
(JAFIC) の大型クラゲ情報
<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>

水産研究・教育機構の
大型クラゲ情報
<http://www.fra.affrc.go.jp/>

福井県水産試験場の
大型クラゲ情報
<https://www.fklab.fukui.fukui.jp/ss/>

